

第2学年 道徳指導案

1 主 題 動物に優しい心で (D-18 自然愛護)

2 教 材 「ひっかきうさぎ」

*紙芝居「動物の飼い方、ふれ合い方」中川美穂子 童心社

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

身近な自然に親しみ、動植物に対して優しく接したり、大切にしようとしたり、愛しんだりする態度は、身に付けなければいけない重要な道徳的価値である。身近な自然を感じたり、飼育・栽培を経験したりする活動を通して、動植物の生命の尊さに気付き、それらに対する優しい心を育みたい。

本教材は、学校 みんなに愛されているクロと、ひっかくからと子ども達にこわがられて構ってもらえないチャーのお話である。チャーがなぜおこっていたかを考えさせることで動物の気持ちに寄り添うとはどのようなことかを感じ取らせたい。また、どのように世話をするとよいかを考えさせ、動物を大事に守り育てようとする気持ちをもたせたい。

(2) 子どもの実態について

低学年の子どもは、動植物に対して強い興味関心をもっている。2年生の生活科の学習では、夏野菜の世話や収穫を通して、世話を続けることの大切さや収穫の喜びを感じることができた。教室でもカブトムシの世話をすることで、成長の様子を楽しみにしながら観察をすることができた。また、1年生の時には、小動物とのふれ合い活動も行っている。

しかし、自分の好きな動植物に対しては一生懸命世話をするが、それは動植物をいたわろうとする気持ちよりも一時的な気まぐれや思いつきのようにも感じられる。時間が経つと飽きてしまったり、植物が枯れそうでも気付かなかったりする場合もある。本授業を通して、動物の気持ちに寄り添うこと、その身になって世話をすることの大切さに気付かせ、これからの活動でしていきたいことやがんばりたいことを見つけさせたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

身近な植物や動物の身になって世話をすることの大切さに気付き、責任をもって世話をしようとする心情を育てる。

(2) ねらいにせまる手立て

チャーがみんなと仲良く元気に過ごすための方法を考えることを通して、ウサギの身になって世話をすることの大切さに気付かせたい。

また、ゲストティチャーに獣医師を迎え、専門的な立場からアドバイスを受けることで、より具体的に動物の気持ちを知り、動物の気持ちに寄り添う方法を考えさせたい。

(3) 本時の展開

展開	学習活動	指導上の留意点 (下線: ねらいにせまる手立て)
気 付 く 5 分	1 1年生の動物ふれあい活動や動植物を世話した経験を思い出す。	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような感触だったか、どのような様子だったか、声をかけながら思い出させる。 ・生活科とも関連付け、どのような世話をしたことがあるかを思い出させる。

<p>さ ぐ る 33 分</p>	<p>2 教材の内容把握をする。 (1) クロとチャーの違いを確認する。 ○ みんなは、クロとチャーに同じように接しているかな。 ・チャーはひっかく、乱暴で、こわい ・チャーのえさと水を急いであげるだけ ・クロとは掃除の時に、一緒に遊んであげる (2) チャーが怒っている理由を考える。 ○ どうして、チャーはみんなをひっかいたのだろう。 ・みんながすぐに出て行ってしまうのがさびしかった ・クロみたいに一緒に遊んでほしかった ・隅っこの部屋に一人ぼっちでさびしい ・かまってくれなくて怒っていた (3) チャーがもう一度元気になるための方法を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティチャーが紙芝居を読み、教師は挿絵やキーワードを提示して、クラス全体で教材の共通理解を進めていく。 ・教材Aの部分を読む。 ・クロとチャーのおかれた立場の違いに気付かせる。 ・チャーが単に乱暴で怖いのではなく、チャーの行動にも理由があることに気付かせる。 ・もしも自分だったらと声をかけ、ウサギになった気持ちで考えさせる。 ・教材Bの部分を読み、自分の想像と比べながら、チャーが泣いている絵を見せ、一人ぼっちで寂しい気持ちに共感させる。 ・ゲストティチャーが、ウサギが「ひっかく」のは、どういうときか専門的な立場で説明する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>チャーが元気になるために、みんなは、どんなことがしてあげられるでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・クロと遊ぶときは、チャーも一緒に遊んであげる ・小屋に入ったときには声をかけてあげる ・チャーに怖がった様子を見せない ・優しくしてあげる ・クロと一緒にの部屋にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>(2)で考えたチャーの気持ちと対比させて、チャーがみんなと仲良く元気に過ごすための方法を考えさせる。</u> ・ワークシートに記入させた後、グループトークを行い、発表が苦手な児童にも自分の考えを発言する場を設定する。 ・教材Cの部分を読み、自分の想像した方法と比べながら聞くように声掛けする。 ・ただ、えさをあげたり掃除をしたりすればいいのではなく、動物の身になって世話をしないといけないことに気付かせる。
<p>見 つ め る 7 分</p>	<p>3 ウサギの飼育での目標を考える。 ○ ウサギの世話をするとき、どんなことをがんばりたいですか。 ・一緒に遊んであげる ・部屋をきれいに掃除してあげる ・そっとだっこする 4 ゲストティチャーに、世話をするとき、に気を付けるとよいことを質問する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度うさぎの飼育を行うことを伝え、意欲付けをする。 ・今日の授業のまとめとして、ワークシートに自分の考えを記入させる。その後、数名に発表させて友達の考え方のよさに気付かせて広がりをもたせる。 ・ゲストティチャーが専門的な立場から、ウサギの特性について話をする。

(4) 評価

身近な植物や動物の身になって世話をすることの大切さに気づき、責任をもって世話をしようとする気持ちをもつことができる。

(5) 板書計画



ワークシート

どうとくのじゅぎょう ワークシート

2年 くみ ばん 名前 ()

1

2

